

友生小だより

伊賀市立友生小学校 学校だより No.9 2025年9月24日



避難訓練を実施しました

9月1日(月)、今年度2回目の避難訓練を実施しました。1学期は火災に対応した避難訓練でしたが、今回は地震に対応した避難訓練です。

子どもたちは、この日までに各学級で防災についての学習をおこなったうえで、今日の訓練を迎えました。教室での学習中に地震が発生したとの放送を聞き、危機回避の後、安全を確認して運動場に避難しました。その後、教室に戻って、避難訓練や備えについてなど、いつくるかわからない地震への準備の大切さについて振り返りをしました。そして、「自助」「共助」の考え方についても学習し、災害時に大人と一緒にいるとは限らないということをふまえ、避難経路や災害時の家族の集合場所など、防災の備えについて、お家の人と確認をしておくよう話をしました。ご家庭でも機会を捉え、子どもたちと話をしていきたいと思います。

2年生、足立さんとの出会い学習

9月12日(金)、2年生が、さつまいも作りでお世話になっている足立さんにお越し頂き学習しました。この日、お話を聞かせていただいたのは、友生小学校の歴史です。

友生小学校が現在の場所に新しく建てられた開校以来、地域の方々が、子どもたちのためにと長い時間をかけて今の環境を整えてくれました。池を作り、木を植え、花を咲かせ、様々な生き物が住む庭ができ、「観察など学習のために必要な植物や昆虫、魚など、ほとんど学校の庭にそろっている」学校になりました。



また、サツマイモ畑となっている畑を作り、庭に校碑の基礎を設置してくれたのも地域の方々です。さらに、地域の方の支えだけでなく家族、友だち、学校の先生など、周りに支えてくれる人がいること、自分たちが大切にされていることをあらためて実感できる学習となりました。

「全国学力・学習状況調査」の結果から

本年4月17日に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が7月中旬に発表されました。本校の子どもたちは、最後まで粘り強く取り組むことができました。無回答率も全国に比べて低い数値となっています。

【学力調査の結果】

友生小学校の結果

- 国語・・・「全国と比べて下回っている」
- 算数・・・「全国と比べてやや下回っている」
- 理科・・・「全国と比べてやや下回っている」



※ 表記については、学校の平均正答率の差が全国と比べて、+5%以上が「全国と比べて上回っている」、+2%以上～+5%未満が「全国と比べてやや上回っている」、±2%未満が「全国と比べてほぼ同じである」、-2%以上～-5%未満が「全国と比べてやや下回っている」、-5%以上が「全国と比べて下回っている」と表されます。

【各設問の結果からわかった本校の子どもたちの強み】

◇国語

- 漢字を文の中で正しく使うことができる。

◇算数

- 台形の意味や性質について理解している。
- 異分母の分数の加法の計算ができる。

◇理科

- 電流がつくる磁力について電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている。
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。



【各設問の結果からわかった本校の子どもたちの課題】

◇国語

1. 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。
2. 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができる。

※ 上記1⇒本校正答率61%(全国正答率71%)、上記2⇒本校正答率31%(全国正答率41%)。ともに「問われている内容や、解答に対する条件を正確に読み取れていない」という課題が見られる。

◇算数

1. 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。
2. 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができる。

◇理科

1. 水の温まり方について、問題解決するための観察、実験の方法を検討し表現できる。
2. 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。

(イ)の正答は「蒸発し」

(ウ)の正答は「水蒸気」

それぞれ3つの選択肢より選ぶ

選択式の問題。

全国正答率64.2%に対し、本校

児童正答率は52.2%。

Aで、液体の水は温められて、ふっとうしている。

Bで、水蒸気は冷やされて、湯気になっている。

Cで、湯気は（イ）で、（ウ）になっている。

Dで、（ウ）は（エ）で、（オ）になっている。

【学習状況調査の結果からわかった本校の子どもたちの様子】

【良いところ】

- 学習意欲については、「国語の勉強は好き(全国比+9.3)」、「算数の勉強は好き(全国比+11.2)」、「理科の勉強は好き(全国比+11.0)」と全国に比べ高い数値でした。

また ICT教育について「授業で、PC・タブレットなどの「ICT機器を使用した」と肯定的に回答

した児童が全国に比べ13.6ポイント高い数値でした。

- 学校生活については、「困りごとや不安を先生や大人にいつでも相談できる」と肯定的に回答した児童が、全国に比べ8.8ポイント高い数値でした。その他「学校生活をよくするために話し合い、互いの良さを生かし解決方法を決めている(全国比+9.4)。」「地域や社会をよくするために行動した(全国比+11.0)。」といった設問も、肯定的に回答した児童が、全国に比べ高い数値でした。

【課題】



○ 家庭学習と生活習慣について

「学校の授業以外の一日当たりの勉強時間(平日)」が1時間以上と回答した児童が、全国に比べ17.2ポイント低い数値でした。また「毎日同じくらいの時間に寝ている」と回答した児童が、全国に比べ15.7ポイント低い数値でした。この「家庭学習時間の時間」や「就寝時間」の課題については、SNSや動画視聴など、いわゆるスクリーンタイムの時間の影響が考えられます。子どもたちが自ら「時間を計画的に過ごす」ことを意識した生活を送るための取り組みを進めていきます。ご家庭でも、ご協力をよろしくお願いします。

○ 「読む力」の向上・読書習慣の定着について

国語科の課題でも前述しましたが、本校の子どもたちの課題として、「読む力の向上」があげられます。文章や尋ねられている内容を正確に読み取り、その要点を正しく把握するというのは、国語科だけでなく全ての学習において基本となる力です。

「読書は好きですか」という設問では、肯定的に回答した児童が全国に比べ8.0ポイント低い数値でした。また、本校の児童アンケートでは、学年が上がるにつれて数値が下がる傾向にあります(1~3年生80%台、4~5年生70%台、6年生60%台)

本校でも、低学年を中心とした「読み聞かせ」や、高学年を中心とした「ビブリオバトル」など、子どもたちが読書を楽しみ、習慣として定着するための様々な取り組みとともに、今年度より図書館司書の方の協力を得て「行きたくなる図書室」の整備を進めています。ご家庭でも、読書力の向上に向け、ご協力をよろしくお願いします。

学校では、学力調査の結果をさらに詳細に分析し、課題の解決に向けた具体的な手立てを考え、今後の指導改善につなげてまいります。また、課題解決にむけ、学校と家庭の連携を大切にしながら取り組みを進めていきたいと考えています。